

種名	コ ア ジ サ シ Sterna albifrons 													
	分類	チドリ目カモメ科												
特徴	先の黒い黄色いくちばしと黄色い脚を持つ小形のアジサシ類。世界中の熱帯から温帯で広く繁殖する種で、日本では本州以南に夏鳥として渡来し、繁殖する。													
生活	繁殖期には広い川や海岸に棲息し、コロニーを作って営巣する。停空飛翔をして狙いを定め、まっ逆さまにダイビングして魚を捕まえる。オスはメスに魚を求愛給餌する習性がある。巣は砂礫地の地面を浅く掘り凹めた簡単なもので、産卵には4～7月、卵数は普通2～3個。繁殖期が終わり、南方へ渡去する前には干潟などで数百羽の大群が見られる。													
声	アジサシ類の中では、声はもっともよく聞かれる。繁殖地では「キッキッキッ」などと、鋭く鳴いている。水上を飛びながら餌を探す時には、「キリッ」とか「クリッ」と1声ずつ区切って鳴くことが多い。													
見分け方	夏羽では白い眉斑があり、頭上は黒い。くちばしは黄色くて先が黒く、脚も黄色い。													
時期	(月)	-	-	3	4	5	6	7	8	9	10	-	-	
その他	全長(L) 28cm 翼開長(W) 53cm 産卵期は4～7月													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														